

地域で孤立する外国人への相談・支援活動

特定非営利活動法人 NGO 神戸外国人救援ネット

1 事業が目指すところ

兵庫県内でも外国人数は増加傾向であるが、全ての外国人が地域に馴染んで問題なく暮らしているかという決してそうではなく、様々な生活上の問題を抱えてどのようにしたらいいのか分からないまま、生活困窮や在留資格喪失などの困難を抱えている方も少なくない。今後ますます相談活動のニーズは増加し、内容も複雑化、高度化していくことが予想され、それに対応するには、まず相談へアクセスしやすい環境整備が必要である。このような困難な問題を抱える外国人の相談を受け、問題解決のための必要な支援を各種関係機関と連携して実施する。そのことにより外国人の生活や権利を守り、安心して生きていくことのできる多文化多民族共生の地域社会を実現することを目的としている。

2 活動内容

- (1) 移動生活相談会の開催
- (2) 地域で孤立する外国人への寄り添い型支援活動

3 成果や課題点

成果

(1) 移動生活相談会

西脇市 2024年11月10日(日) 13時半～16時半
協力：多文化共生センターひょうご
【相談件数・国籍】タイ1件

芦屋市 2024年12月8日(日) 10時～15時
共催：芦屋市社会福祉協議会、多文化共生センターひょうご
【相談件数】12件 (来所9件 電話3件)

【国籍】フィリピン6件、ベトナム3件、インドネシア、イラン、ペルー
【相談内容】在留資格7件、家族関係2件、労働2件、社会保障2件、医療、日本語学習、その他2件(金銭トラブル、登記名義の変更)

丹波市 2025年2月16日(日) 13時～15時半
共催：丹波市国際交流協会

協力：丹波市社会福祉協議会、PHD協会、多言語センターFACIL、FMわいわい

(2) 寄り添い型支援活動

インドネシア、ウガンダ、チリ、フィリピン、ブラジル、ラトビア出身の相談者に実施した。

(2025年1月末現在)

- ・ブラジル人一家の父親のケガの通院、障害がある子の学校との懇談などに通訳同行した。
- ・外国人シングルマザーの子が大学に進学、家を出た。これまで様々な手続きは子が通訳をしてきたのだが、それがなくなり、救援ネットが役所での手続き等に通訳同行した。

課題

西脇市で実施した移動相談会では、あまり多くの相談者に来所してもらうことができなかった。芦屋市で開催した相談会は社会福祉協議会にも協力して頂き多くの相談者に来所してもらえた。

4 今後の展望、成果の活用

昨年度、相談会を共に実施し好評だったことから、今年度も丹波市国際交流協会、芦屋市社会福祉協議会と一緒に相談会を実施することになった。丹波市での相談会では、国際交流協会はじめ、社会福祉協議会、日本語教室の方、そして神戸市内のNPOと一緒に移動相談会を実施する。来年度以降もこのノウハウを活かして、兵庫県内の他の地域でも移動相談会を共催し、地域で孤立している外国人に繋がれるようにしたい。

